

事業所名 オリーブハウス(放課後等デイサービス)

支援プログラム

作成日

令和6年

12月

24日

| | | | | | | |
|-----------|-----------------|---|---------|---------|-------|---|
| 法人(事業所)理念 | | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの願いに寄り添い、自発性を尊重する。 ・多様な集団の中で社会性を育み、生きる力を付ける。 ・ご家族の気持ちに寄り添い、一緒に子どもを育てる。 ・発達の目を育む、子どもたちの第三の居場所を創る。 | | | | |
| 支援方針 | | <p>①自立支援：子どもたちが自発的に行動できるためのサポートを第一とし、喜びや嬉しさを共有する時間を大切に行動します。</p> <p>②人権尊重：ひとりひとりの人権を尊重し、個性を大切に考えます。子どもたちの行動・考え方の理解に努め、ありのままを受け止めます。</p> <p>③地域貢献：地元地域の方へ向けた支援事業であることを認識し、地域社会への貢献を常に意識した行動をします。</p> | | | | |
| 営業時間 | | 平日 13時00分から 17時30分まで 休日 11時00分 | 送迎実施の有無 | | あり なし | |
| 支 援 内 容 | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・年齢や発達段階に合わせて、様々な活動の中(クッキング、食器洗い、洋服の着脱、お買い物、交通ルールなど)で生活スキルを身に付けます。 | | | | |
| | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> ・粗大運動(ジャンプ、マット、ボール、ブランコなど)、微細運動(はさみ、積み木、ビーズ遊びなど)を取り入れた療育で、体力や運動能力の向上を図ります。 ・保有する視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援します。 ・子どもの自主性を尊重し子ども自身が動くことを学び、動きを通して「からだ(動くこと)」と「あたま(考えること)」「こころ(感じること)」の調和のとれた発達を援助します。 | | | | |
| | 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> ・発達に合わせた個別課題を実施します。(時間、日付、文字、数、コグトレ、記憶、天気など) ・スケジュール管理やタイムタイマーを使い自立を促す視覚支援を行います。 ・駄菓子屋さんごっこでは、実際のお金を用いながら、個々の発達課題に合わせた目標を立て、お金の学習を行います。 ・おやつ購入や外出体験の場面で、公共交通機関を使つてのルールやマナーを身に付けます。 | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> ・ムーブメント遊びで協力して取り組む、応援する、前向きな言葉かけができるよう支援します。 ・集団活動を通して、話を聞く、他者の気持ちを考える、自分の気持ちを表出するなどのコミュニケーションスキルを身につけます。 | | | | |
| | 人間関係 社会性 | <ul style="list-style-type: none"> ・様々な年齢のお友達と関わることを楽しみます。 ・集団での遊びや活動を通してルールや社会性を身に付けます。 | | | | |
| 家族支援 | | <ul style="list-style-type: none"> ・年2回個別面談を実施。 ・送迎時や電話で相談や助言。 ・保護者が参加可能な講座の実施。 ・ごきょうだいが参加可能なイベントの実施。 | | 移行支援 | | <ul style="list-style-type: none"> ・進路の選択について本人や家族への情報提供や相談援助 ・地域住民を招いての行事を通して、交流を図れるよう支援します。 |
| 地域支援・地域連携 | | 相談支援事業所、学校、児童が利用する他事業所等と連携を取り、情報共有をします。 | | 職員の質の向上 | | <ul style="list-style-type: none"> ・面談(年1回) ・外部研修(適宜) ・ミーティング(適宜) |
| 主な行事等 | | 初詣、おもつき大会、夏の水遊び、流しそうめん、すいか割り、ハロウィン、クリスマス会、運動会 | | | | |